

レーザーセンシングによるICTスマート精密林業 in 東京

開催目的

世界的にICTによるスマート精密林業が注目されており、先端的なレーザーセンシングから効率的な森林の在庫管理と収穫情報をもとに、GISによる森林管理、衛星情報を活用したナビゲーション、IoT機能を持つハーベスタ、クラウドサービスによる木材サプライチェーンの構築に向けて「長野モデル」を開発しています。世界の先頭でレーザーセンシングによる森林管理技術を開発する北欧のフィンランド国最先端レーザ研究所と共同シンポジウムを開催し、日本林業の成長産業化を目指します。会場は日本語と英語の同時通訳が入ります。

場所: 都道府県会館 101会議室 200名(事前申込制)

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-6-3 <http://www.tkai.jp/>

日時: 平成30年2月27日(火) 10:00-16:10

挨拶 10:00-10:20

信州大学(主催者代表)

濱田 州博学長 (5分)

フィンランド大使館

ユッカ・シウコサーリ大使 (10分)

農林水産省林野庁

沖 修司長官(5分)

(来賓紹介)

プログラム

午前の部(10:20-12:00)

I 基調講演

最先端の森林レーザ計測研究

40分

ユハ・ヒツパ 特別招へい教授 (フィンランド最先端レーザ研究所 所長)

II 北欧のスマート精密林業 (質疑各5分)

1. フィンランドの精密林業

30分

ミコ・バストランタ准教授 (フィンランド最先端レーザ研究所、東フィンランド大学)

2. スウェーデンの精密林業

30分

ホカン・オルソン教授 (スウェーデン農科大学)

昼食

午後の部(13:00-16:40)

3. 森林のモバイルレーザ計測

30分

アントレ・クコ博士(最先端レーザ研究所 上級研究員、ソリッドポテト株式会社)

Ⅲ スマート精密林業「長野モデル」 (質疑各5分)

4. 長野モデルとドローンレーザによる間伐支援 30分
加藤正人(信州大学)
5. 現場レベルでの精密林業、サプライチェーン 30分
堀澤正彦(北信州森林組合)

コーヒー・タイム(14:30-14:50) 20分

6. 航空レーザ計測とALANDIS、IoTハーベスタ 30分
大野勝正・南都寛(アジア航測・北信州森林組合)
7. 奈良井国有林での収穫調査へのICTドローン活用 20分
岩塚伸人・角秀敏(中信森林管理署)

Ⅳ パネルディスカッション(13:50-16:30) 40分

パネリスト:スマート精密林業「長野モデル」講演者

パネル展示

会場奥にて、コンソーシアム参画機関による研究成果の展示

懇親会 17:00~19:00

都道府県会館地下1階(B1) 上海大飯店 5000円(税別) 100名(事前申込制)

主催:LSによるスマート精密林業コンソーシアム、信州大学、北信州森林組合、アジア航測

共催:農研機構

後援:フィンランド大使館、林野庁、長野県、長野県森林組合連合会、日本森林学会、日本写真測量学会、森林計画学会

【お問い合わせ・申し込み先】

〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村 8304

国立大学法人 信州大学

スマート精密林業シンポジウム事務局

電話 0265-77-1305

E-mail: kurasaki_atsushi@gm.shinshu-u.ac.jp